

## 持続可能な地方創生案メモ

～“情場”研究会・中間総括～

2015・03・03 KAJIWARA

### 1 知的生産活動 「交流」がキーワード

持続的に成長し、進化する地域を創生するには

筋肉労働中心の工業社会から頭脳労働中心の情報社会への転換に応じ

①創造的な人材によって

②創造的な場所で

③創造的な環境の中で

自立的に知的生産活動が展開され、地域の知的生産性を高めること。

### 2 産業の情報化

情報産業だけでなく、農業、林業、漁業も工業も

単なる汎用品ではなく、

モノの生産に加え、加工、販売の各段階で

工夫をこらしカイゼンを重ね、ときにはイノベーションを起こし

「創造」によって製品の付加価値を高め、市場競争力を確保すること

### 3 創造社会 頭脳系・神経系社会 「自己組織化」できる生態系

「創造的な人材」とは、常に新しいことにチャレンジする人

「創造的な場所」とは、多様な人や情報と出会える場（リアル・バーチャル）

「創造的な環境」とは、安全・安心で創造的な活動を助長する自然・社会環境

### 4 戦略としては 例えば

(1) 情報産業の誘致 サテライトオフィス、クラウドソーシング

(2) 大都会より移住希望者の誘導 農業の6次産業化、町工場の情報化、地域情報システムの構築サポート

(3) 企業との提携 耕作放棄地の開墾 公民連携（日経BP社）

(4) 国内・国外観光客の誘致 ゲストハウス、地域資源の発掘、加工、宣伝

(5) マザー工場や研究所の誘致（従業員の知的生産力）

(6) これらを推進する若手グループを（市民主導）

開かれたコミュニティが支え

自治体、各種団体、金融機関、大学などが連携ネットワークで協働

街に「たまり場」、諸活動・横割り・集合の拠点（グランフロント大阪）

IT塾その他のインフラ整備（交通、通信、環境・・・）